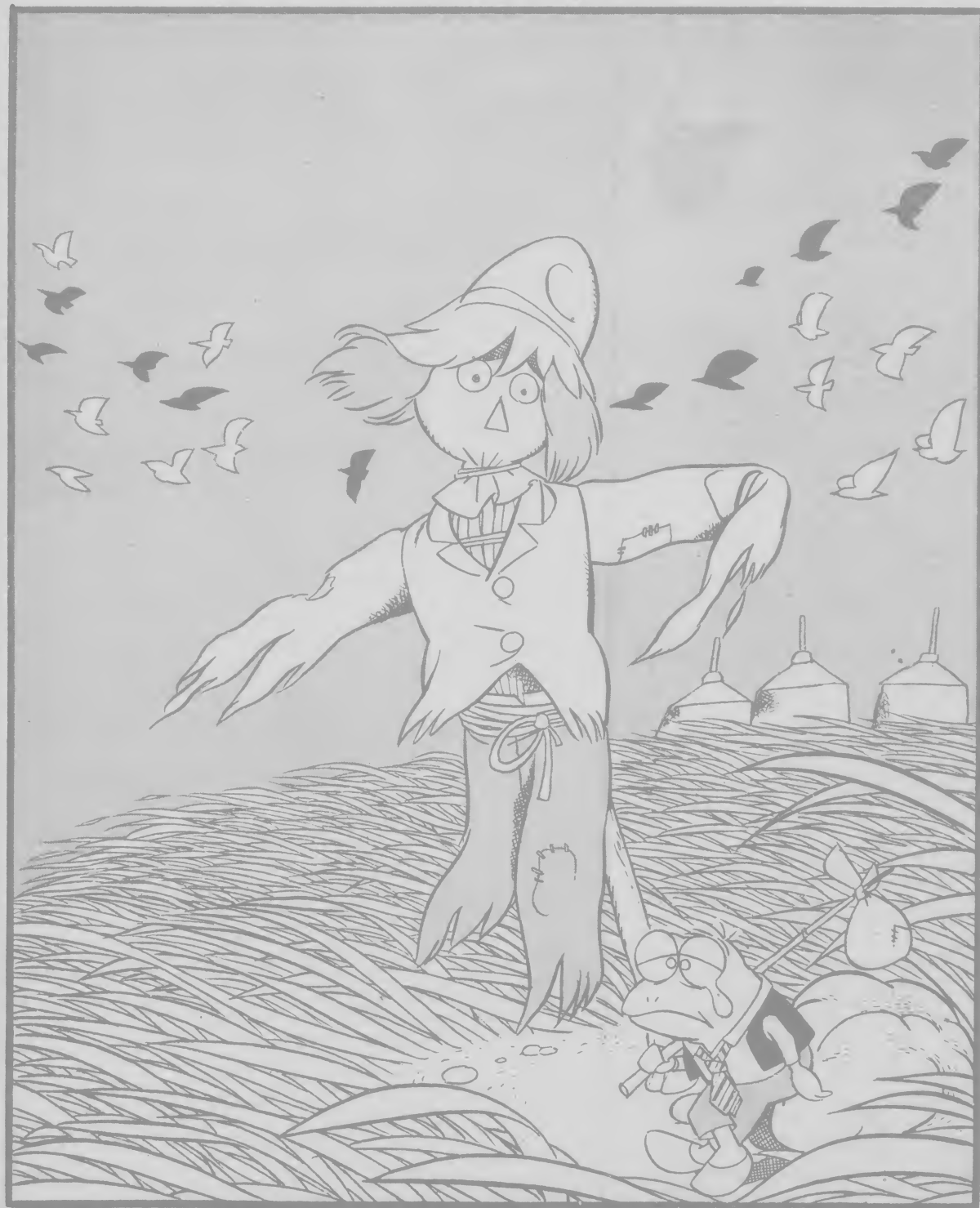
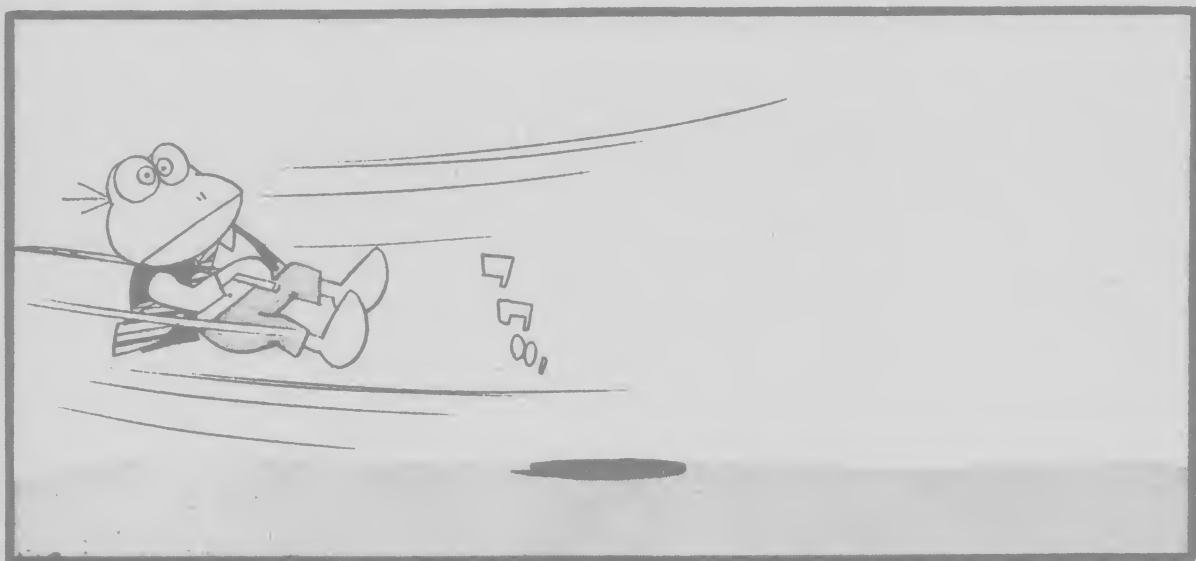
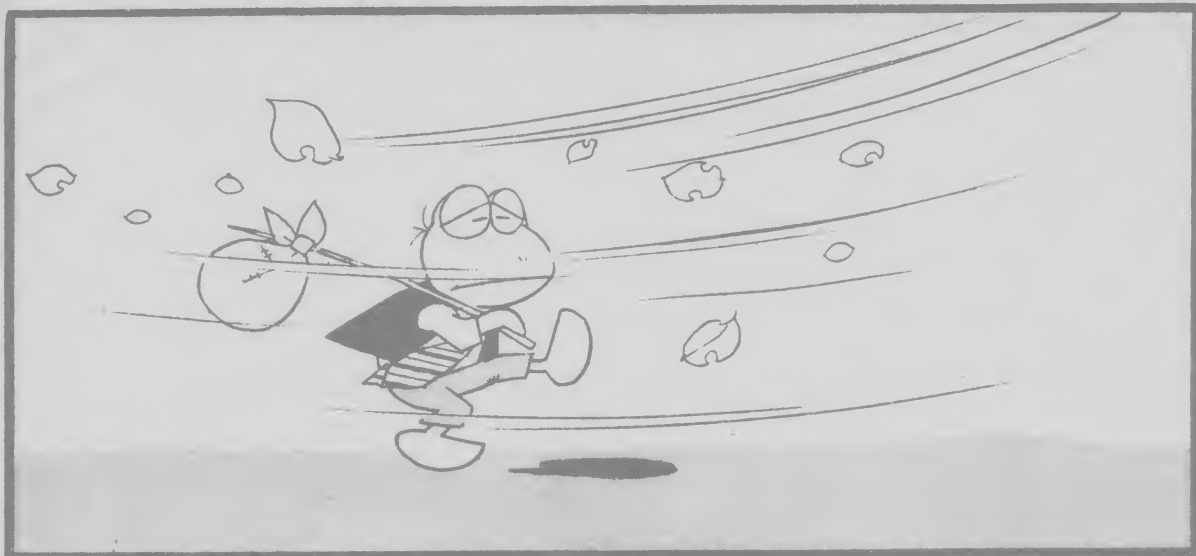
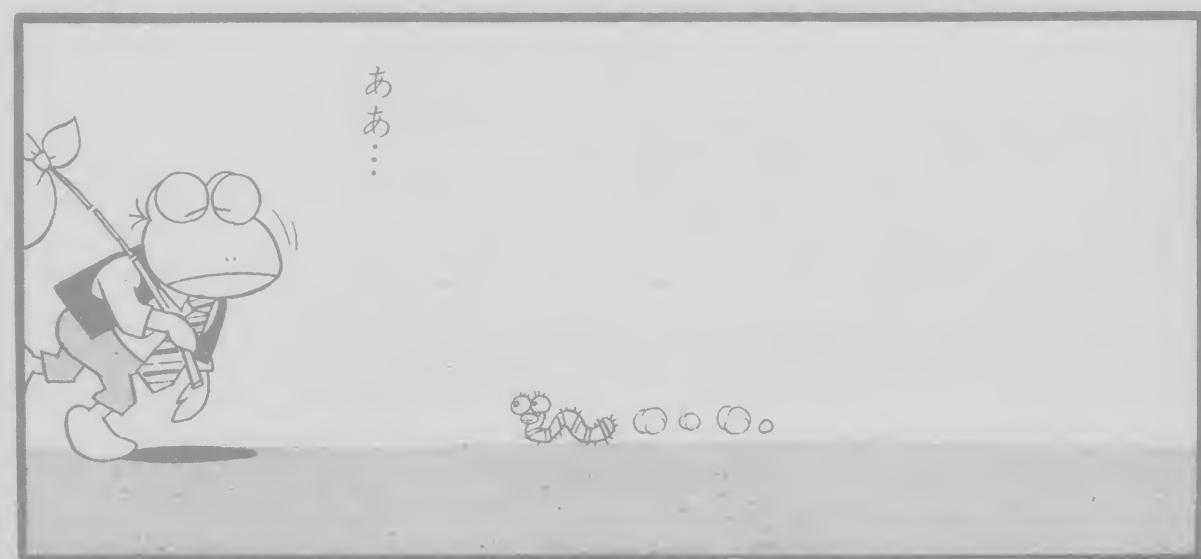
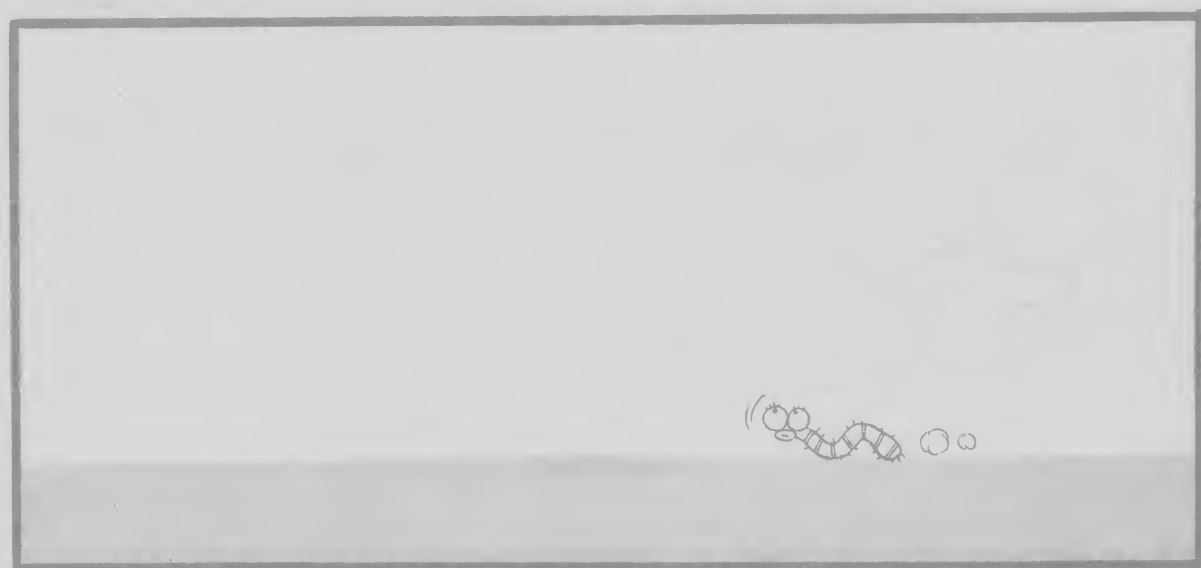
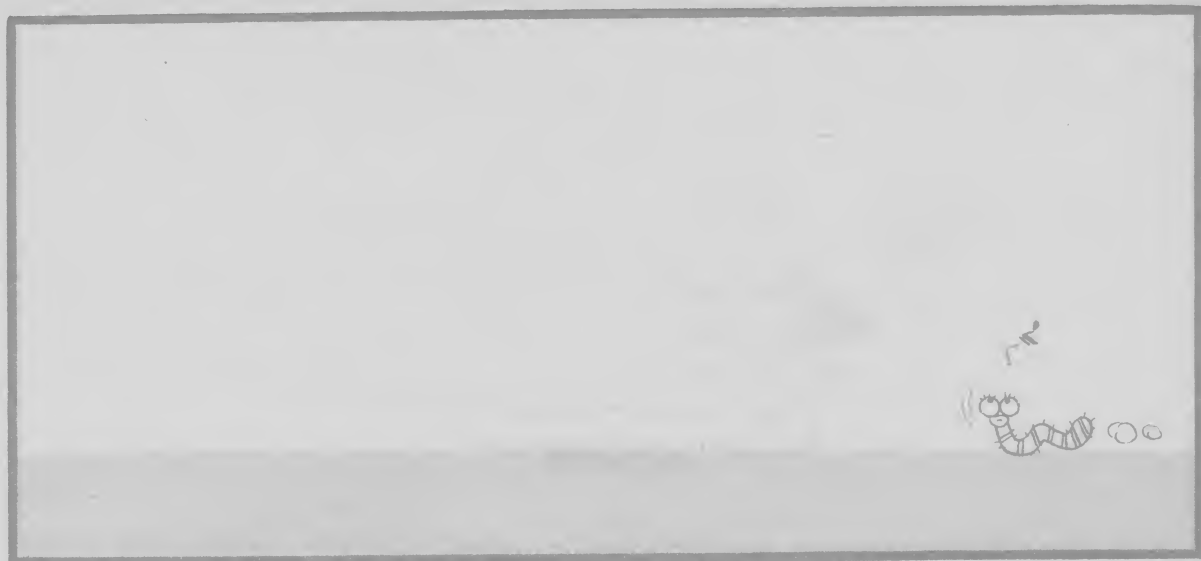
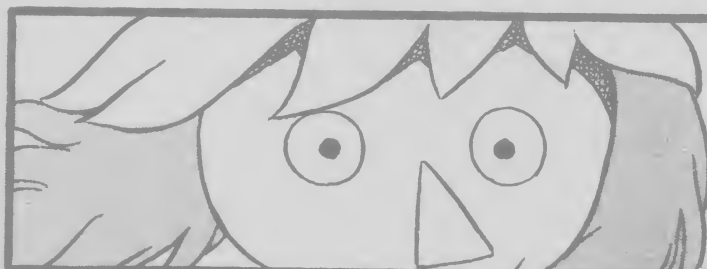
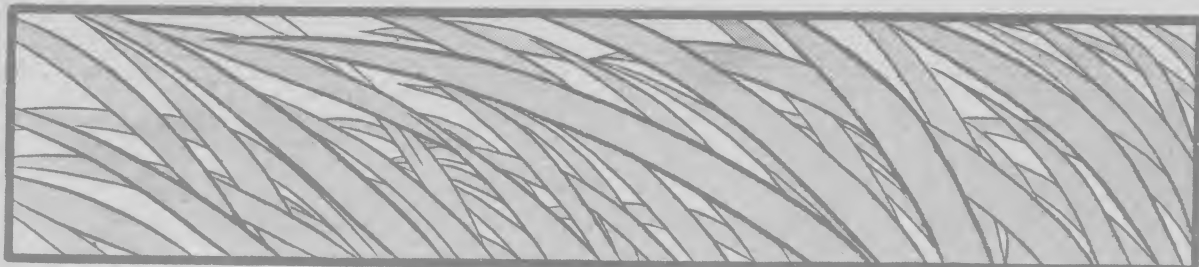
○シリーズ黄色い涙／SHINJI. GEKIGA. COLLECTION-NO.3

かかしが　きいた　かえるのはなし

☆作 構成 永島 慎二

茶色い風が
雑木林を泣かせて
どっどどどど
と、ふきすぎた日の
ことだ―
そのかえるは
その風にさからう
ように―
あっちからやって
来たのさ

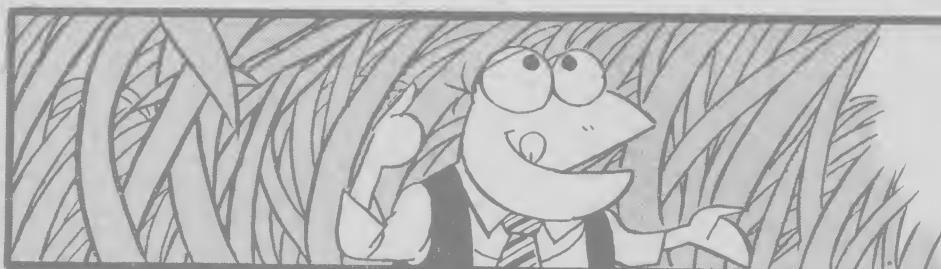
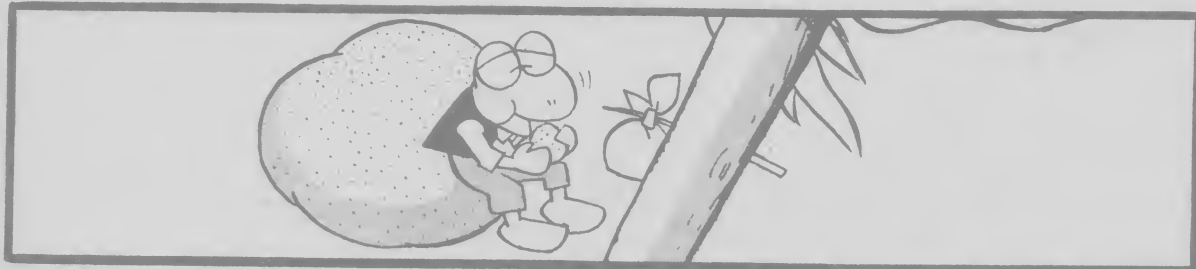
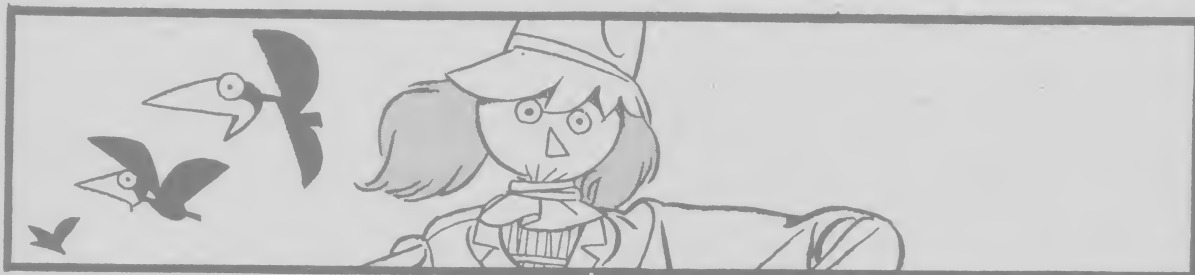
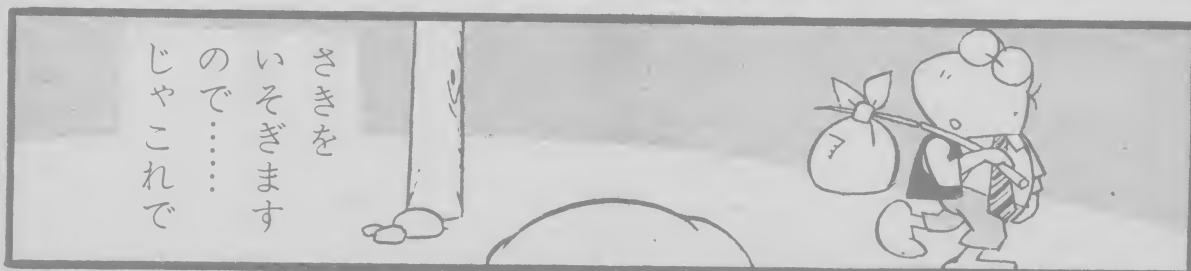
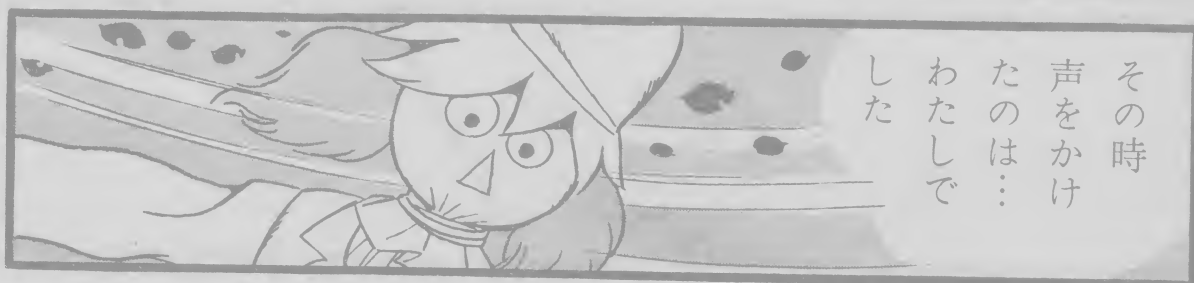
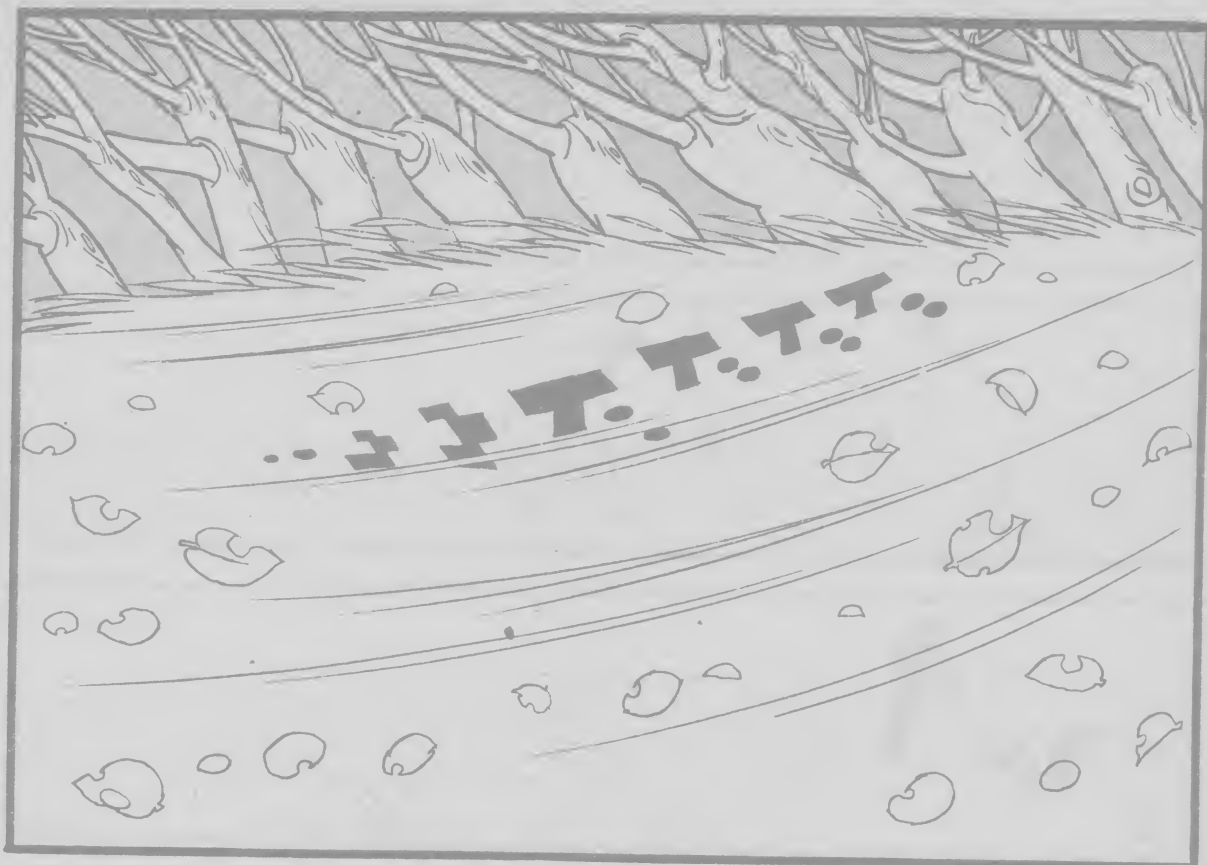
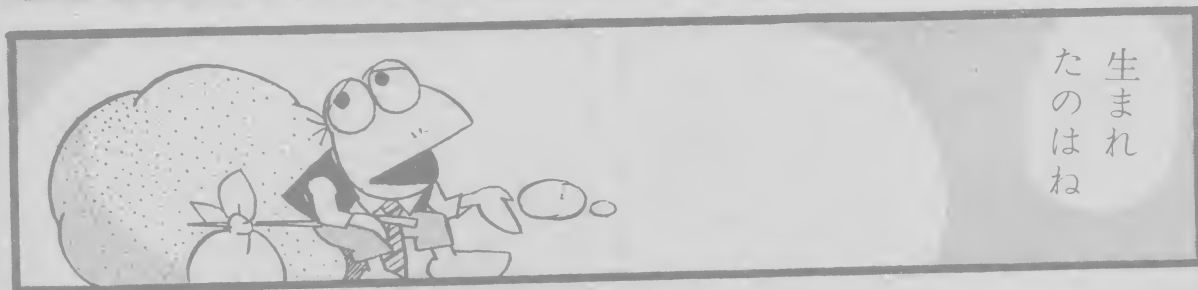
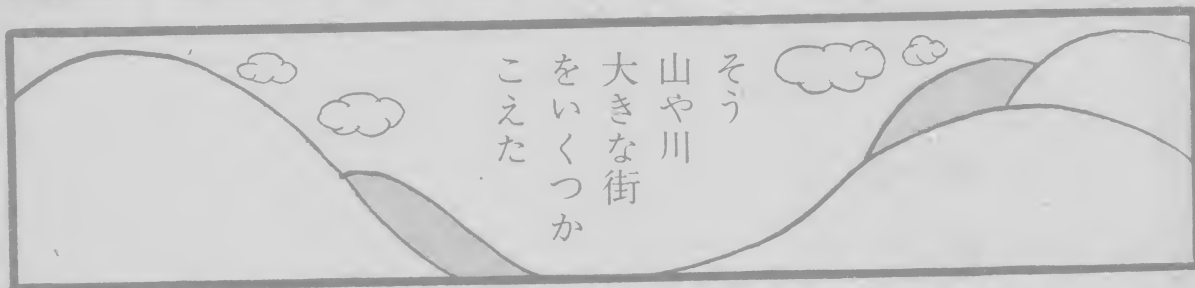
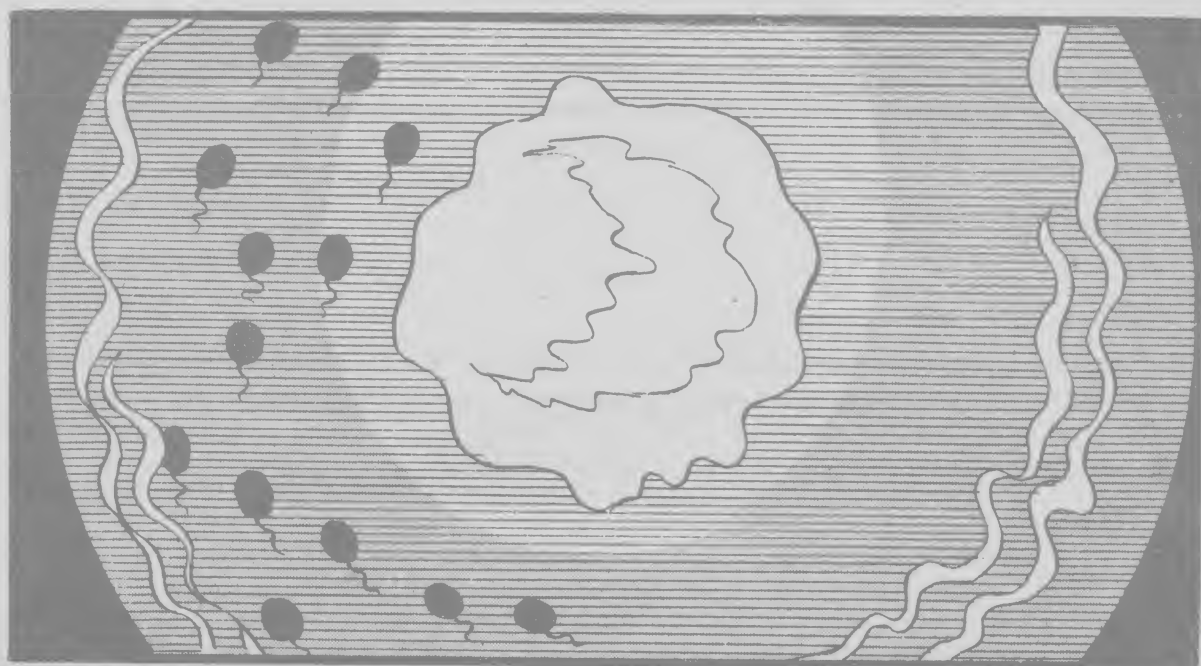
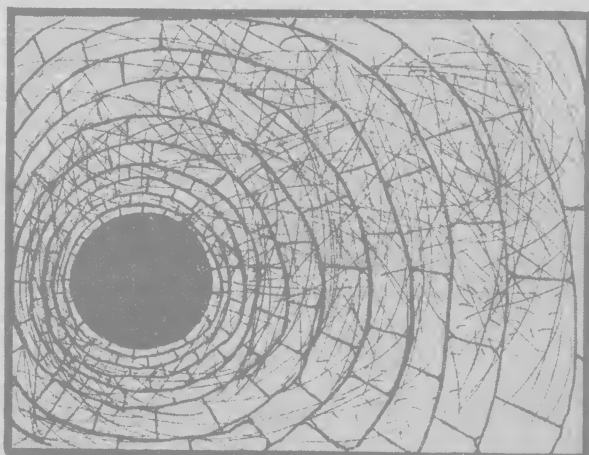
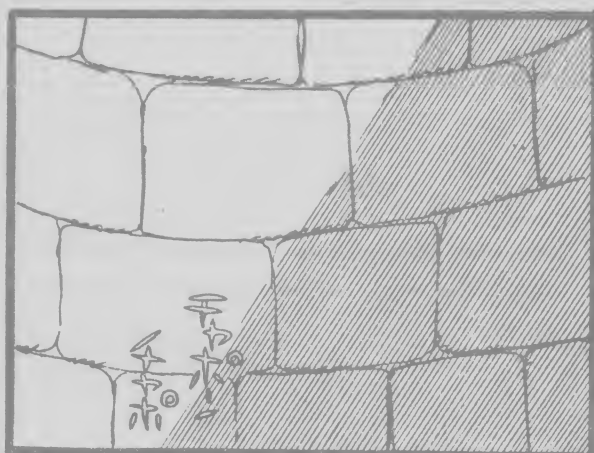
ああ・・・

はらが・・

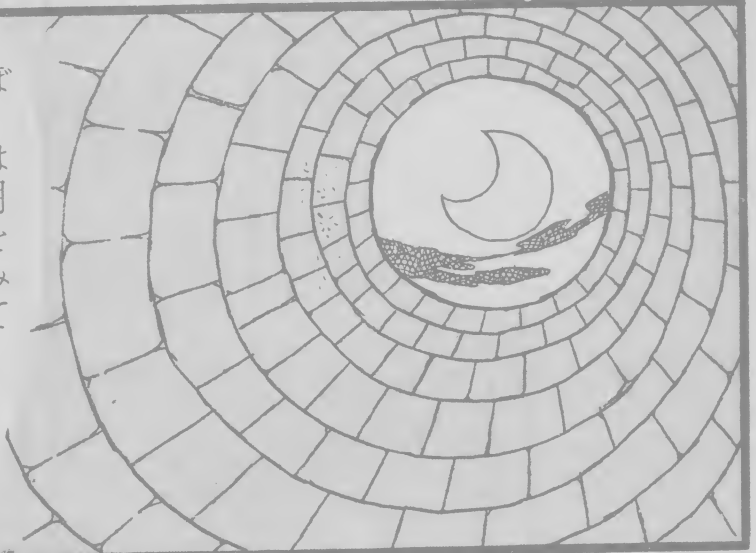
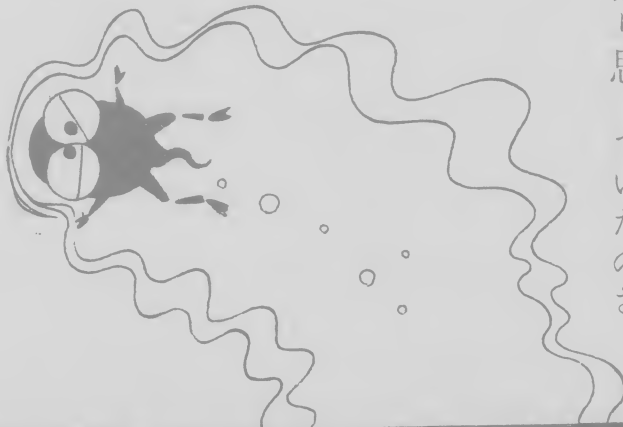
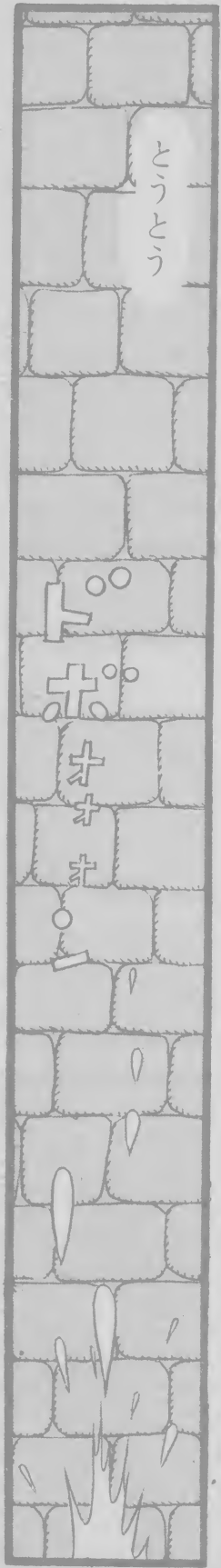
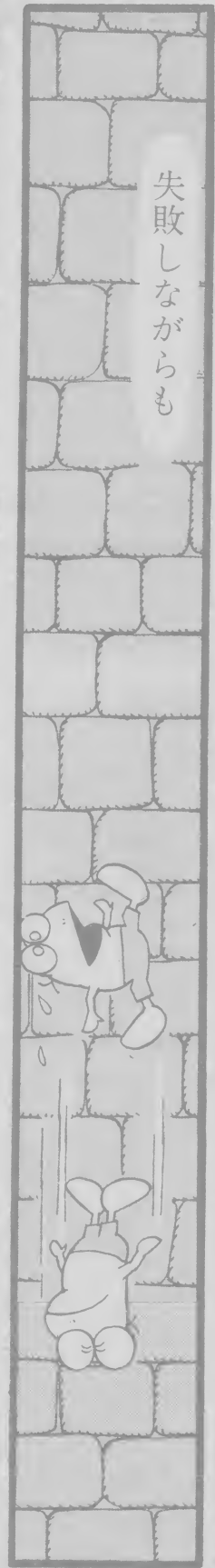
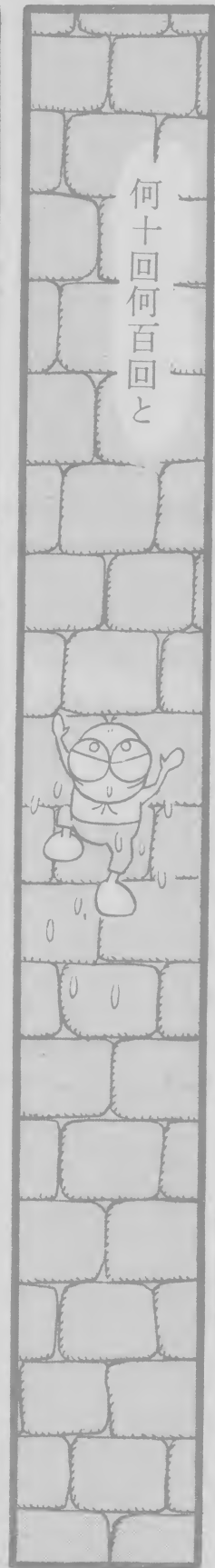
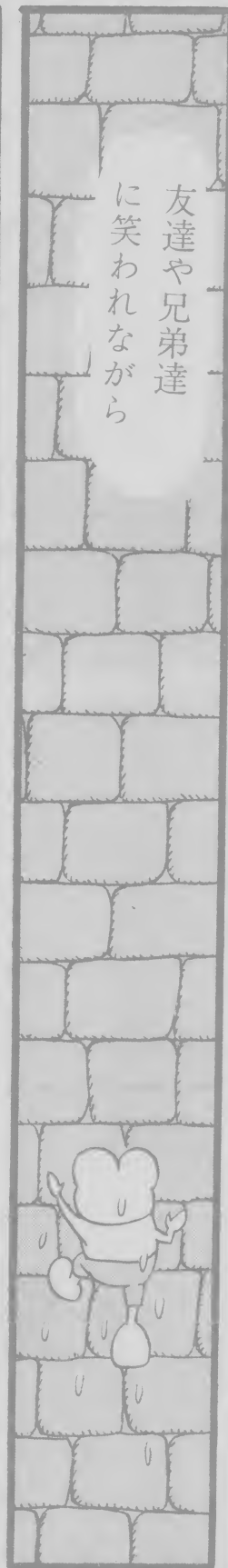
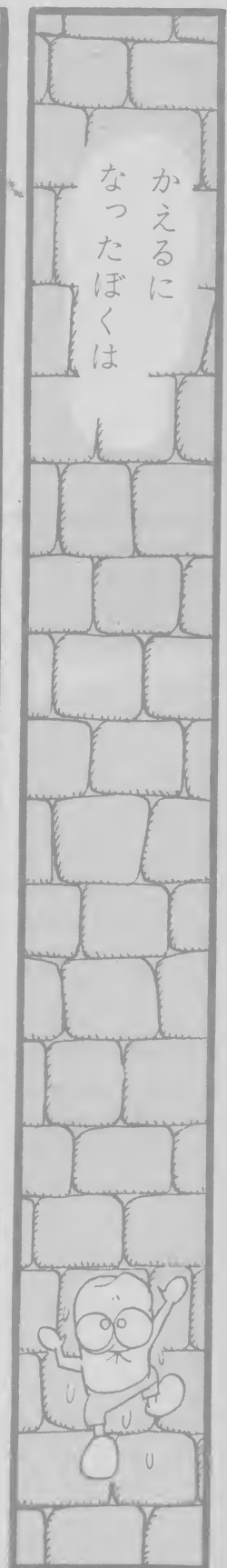
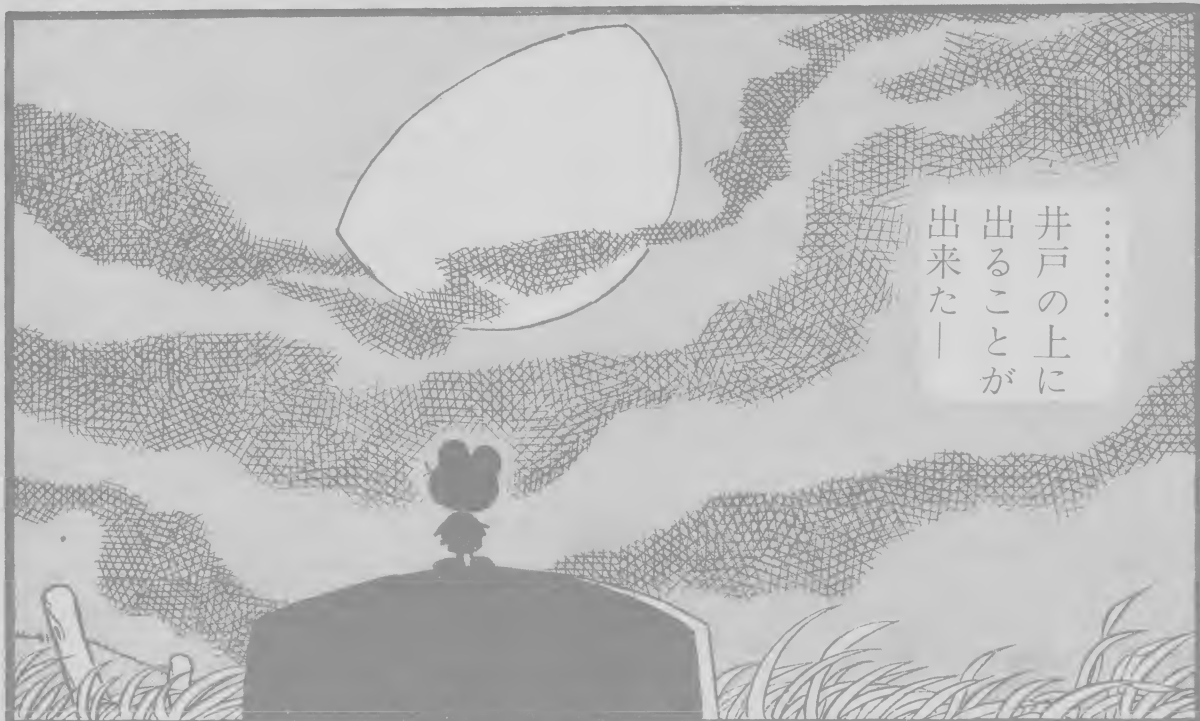
へった！

かえるは
なんにちも　なんにちも
なんにも　たべて
なかった　そうで

さきをいそぎますので……じゃこれで

その時声をかけたのは…わたしでした

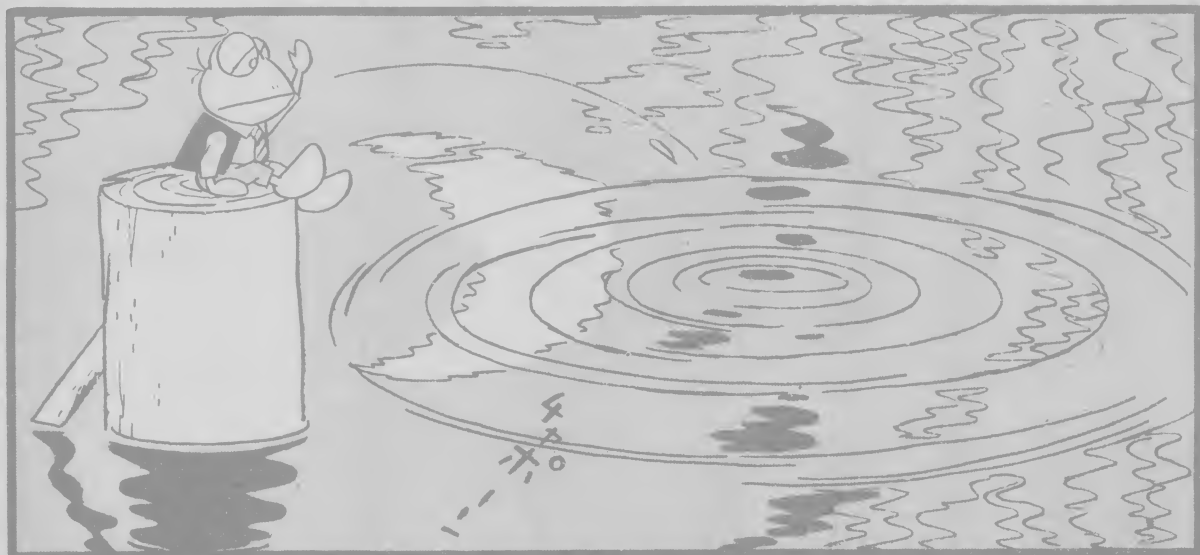
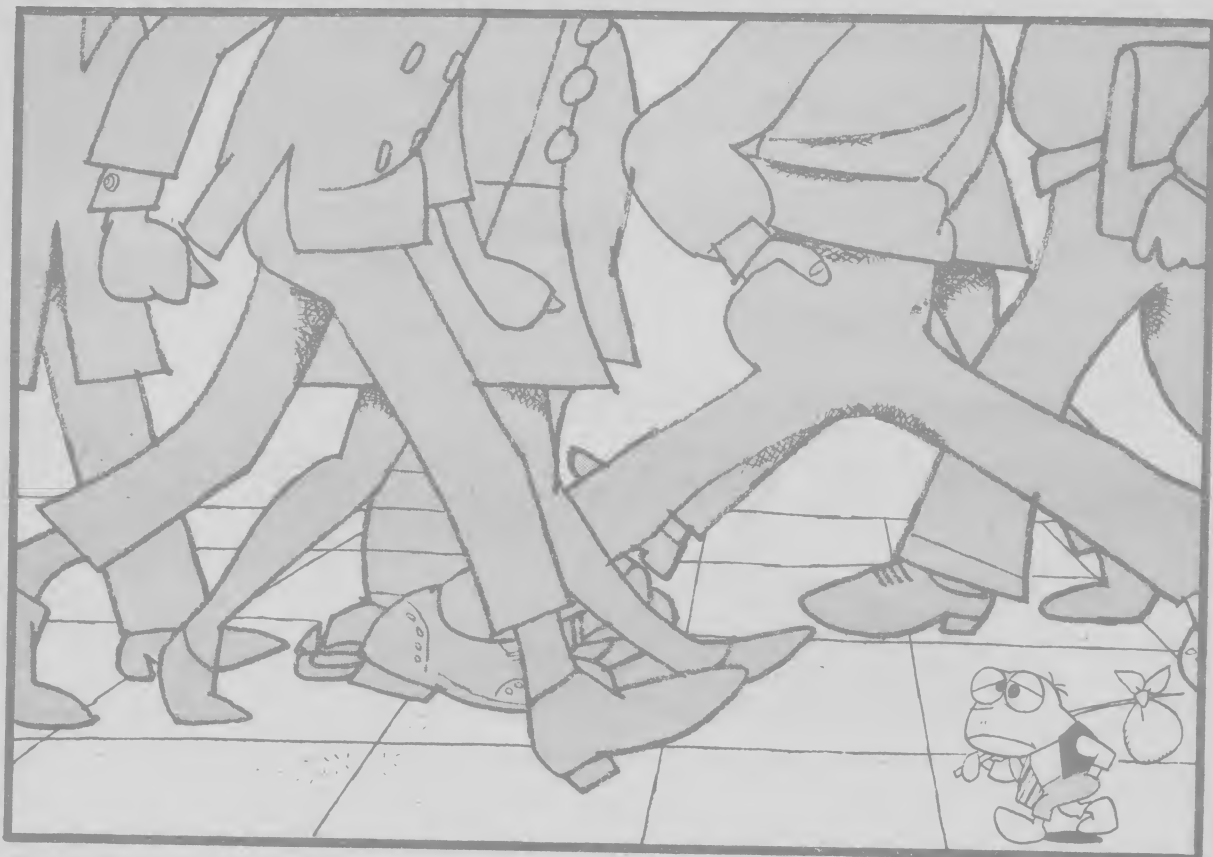
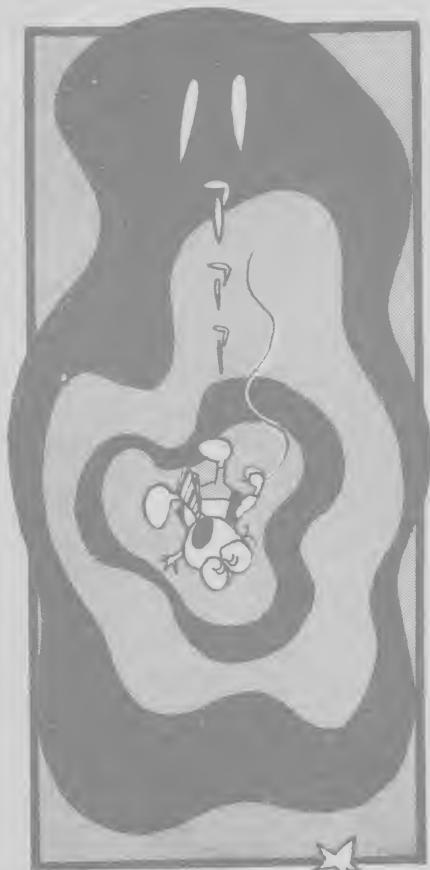
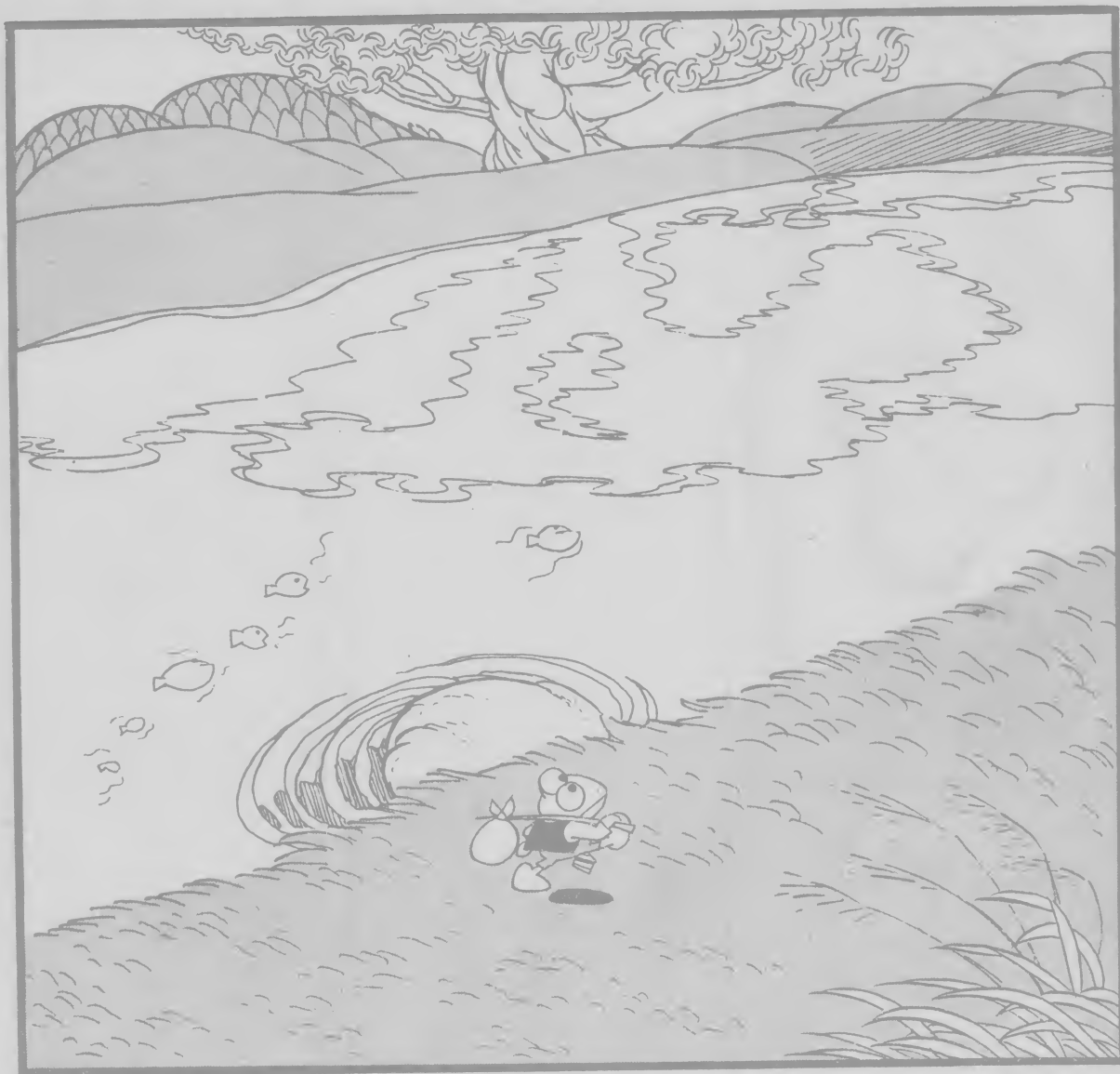
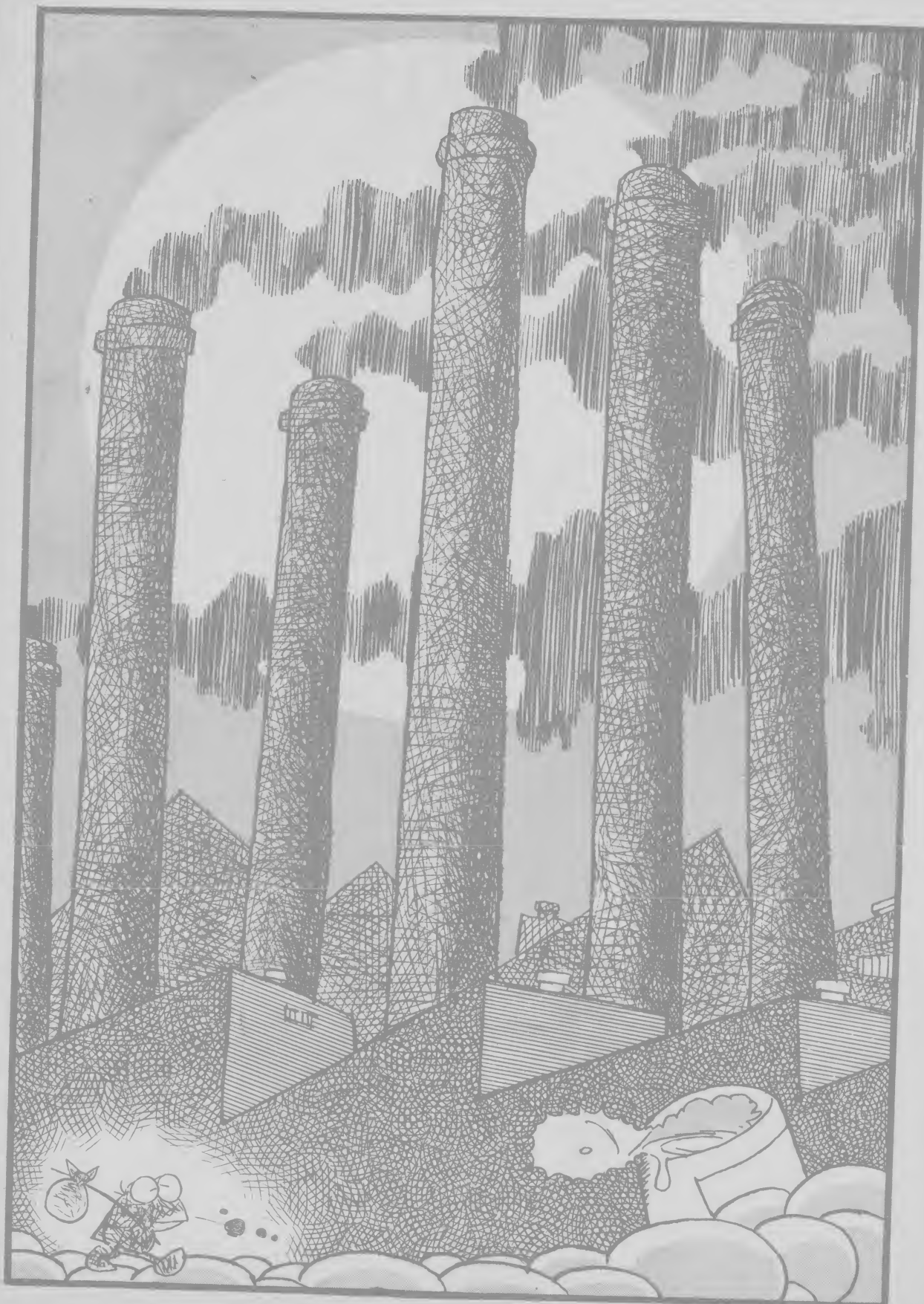
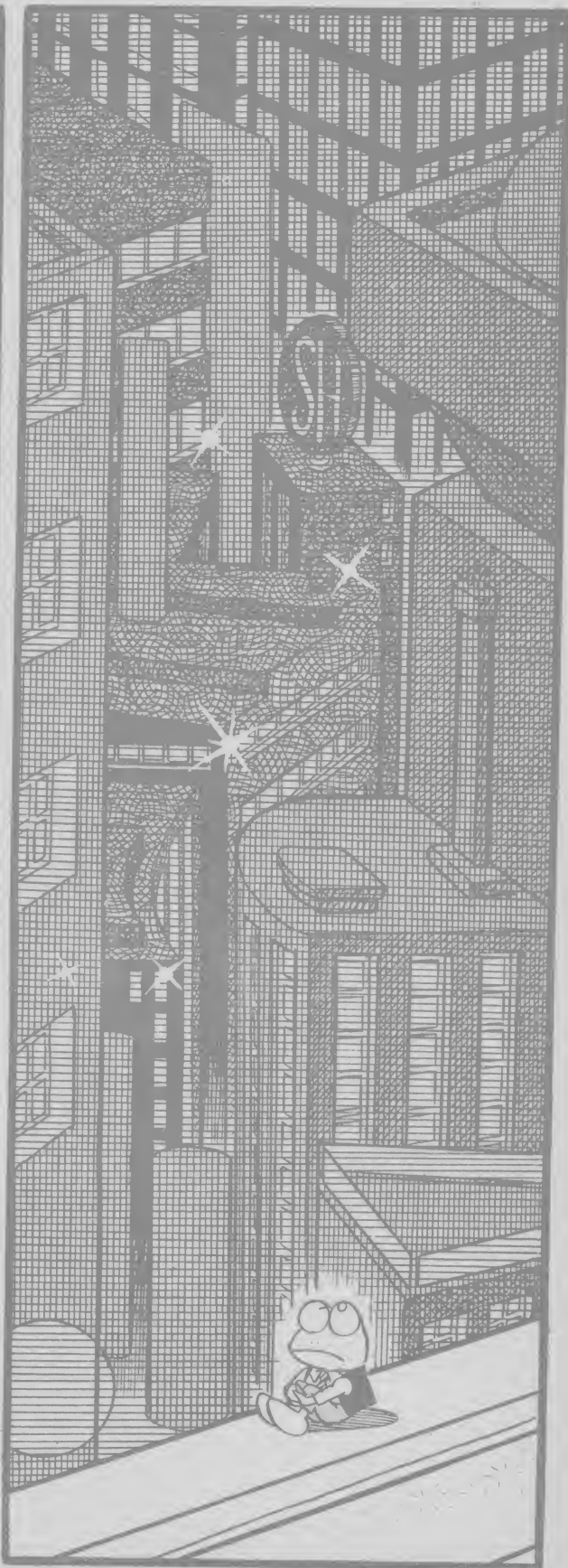
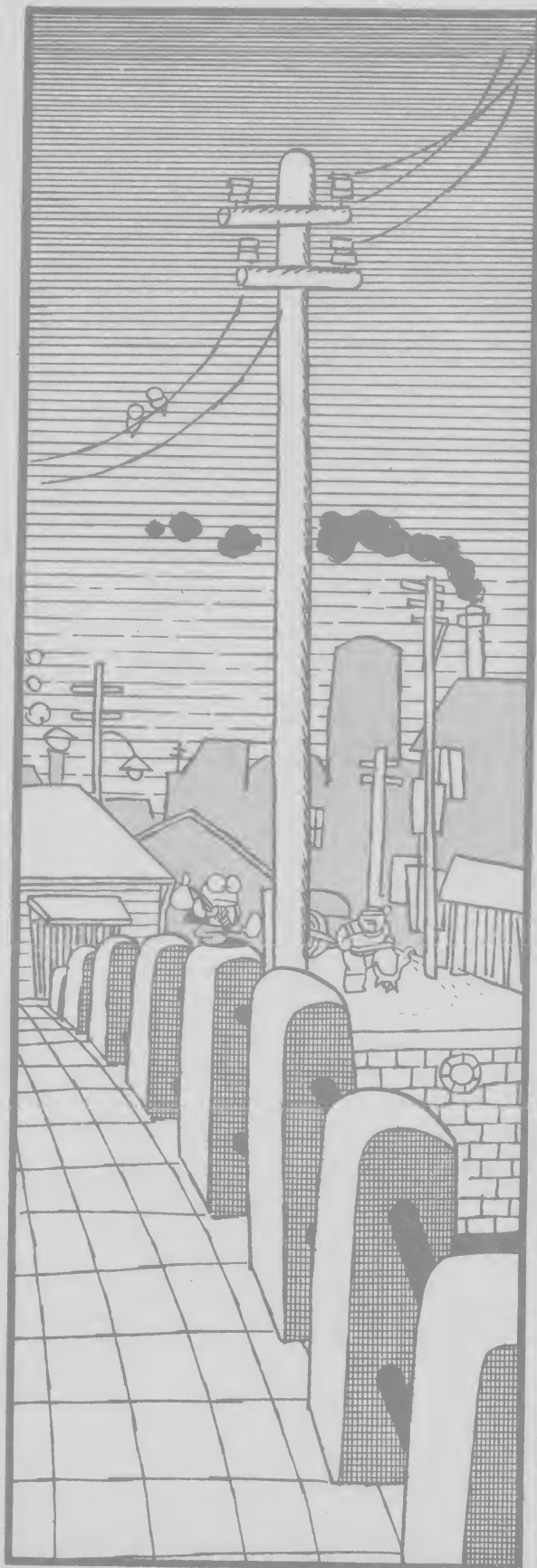
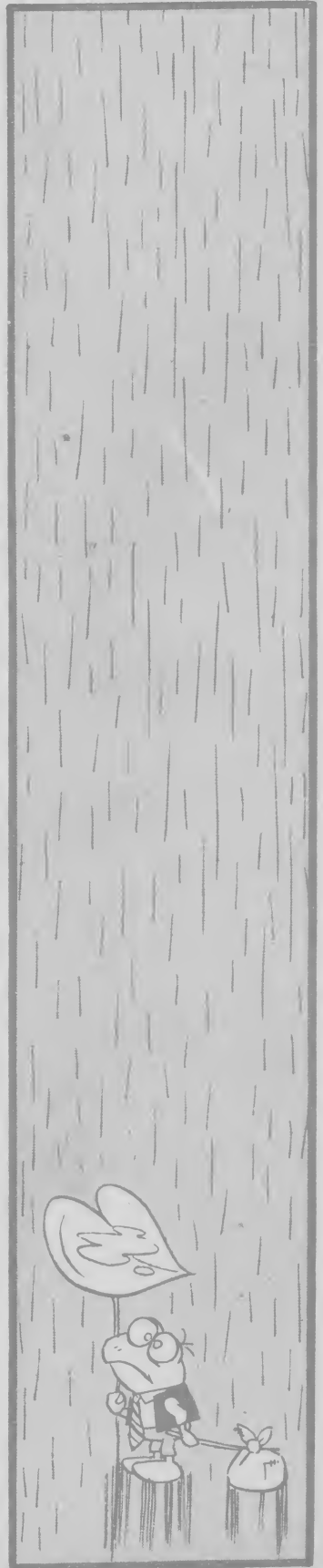
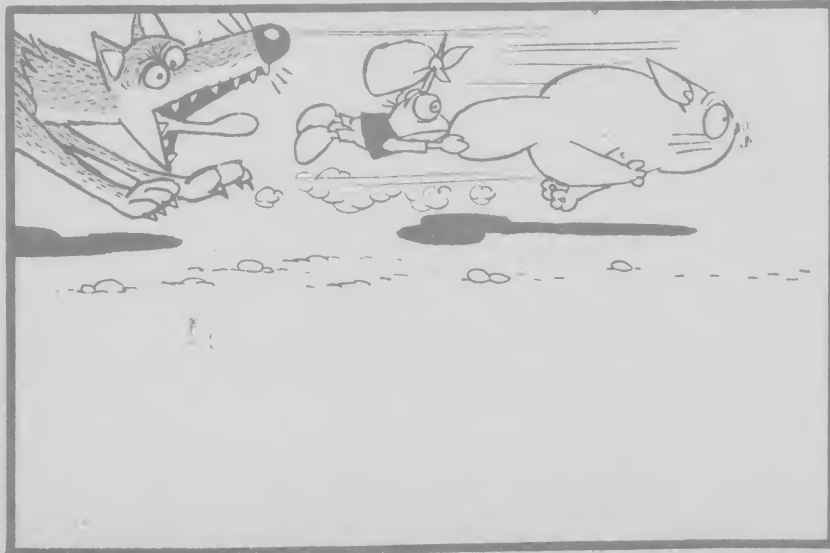
君なら……

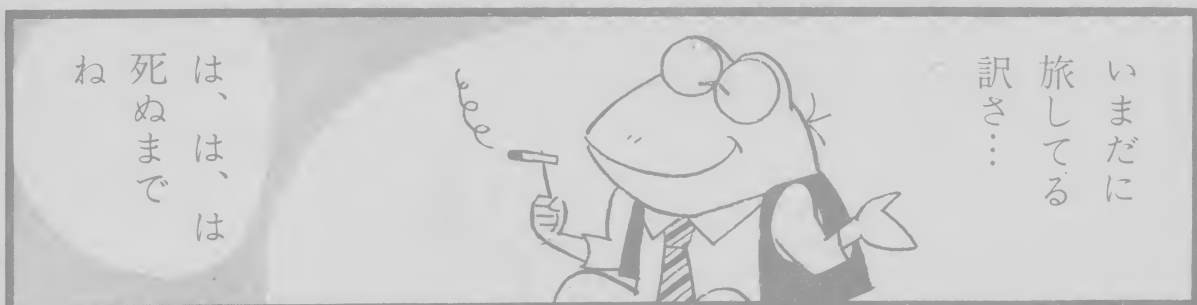
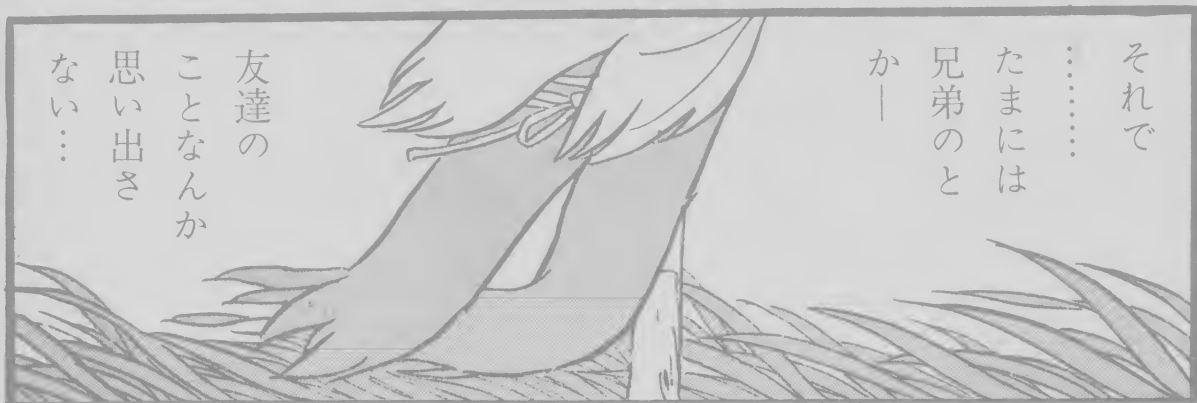
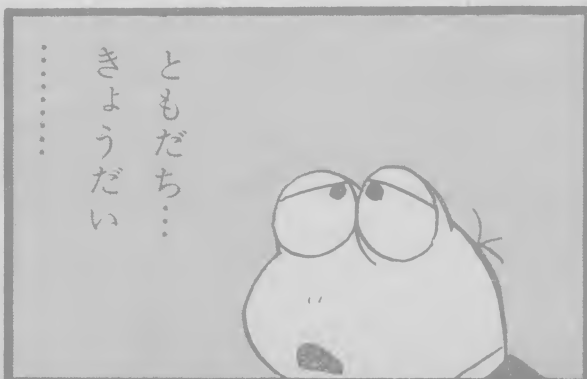
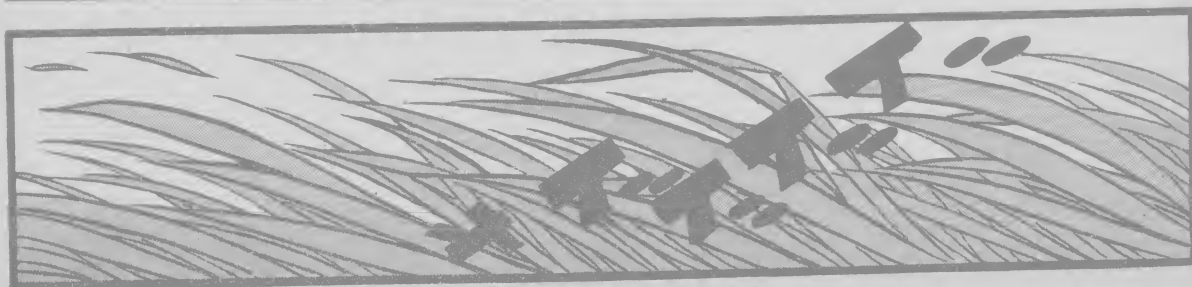
わらわないな……きっと

ヨッコイショ！
ぼくが……
生まれたのはね
ここからずうっと遠い
そう
山や川
大きな街をいくつかこえた
その又むこうの……

古い
井戸の
中です

兄弟も
ともだちも
たくさんいたので
けっこう楽しく
やっていたんだ
けど……

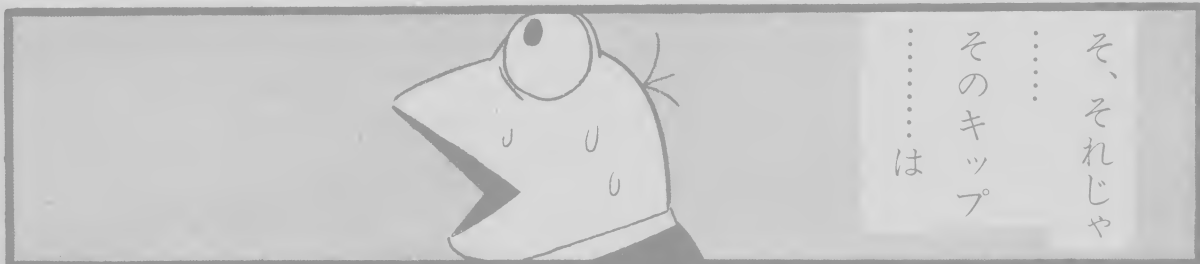
ある時

ぼくは月をみて
とても美しいと思った
つまり—感動した訳だ
——月が忘れられ
なくなっちまった
そのうちぼくは月が
ほしいと思うようになった

かえるに
なったぼくは
友達や兄弟達
に笑われながら
何十回何百回と
失敗しながらも
とうとう
ト゜ポ゜オォォ゜ー

………井戸の上に出ることが出来た—

それからなんだ…
ぼくの旅がはじまったのは——

チャポ

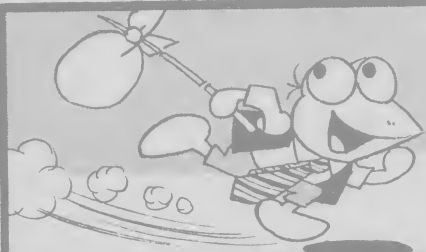
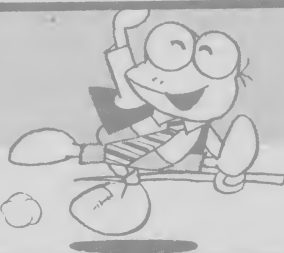
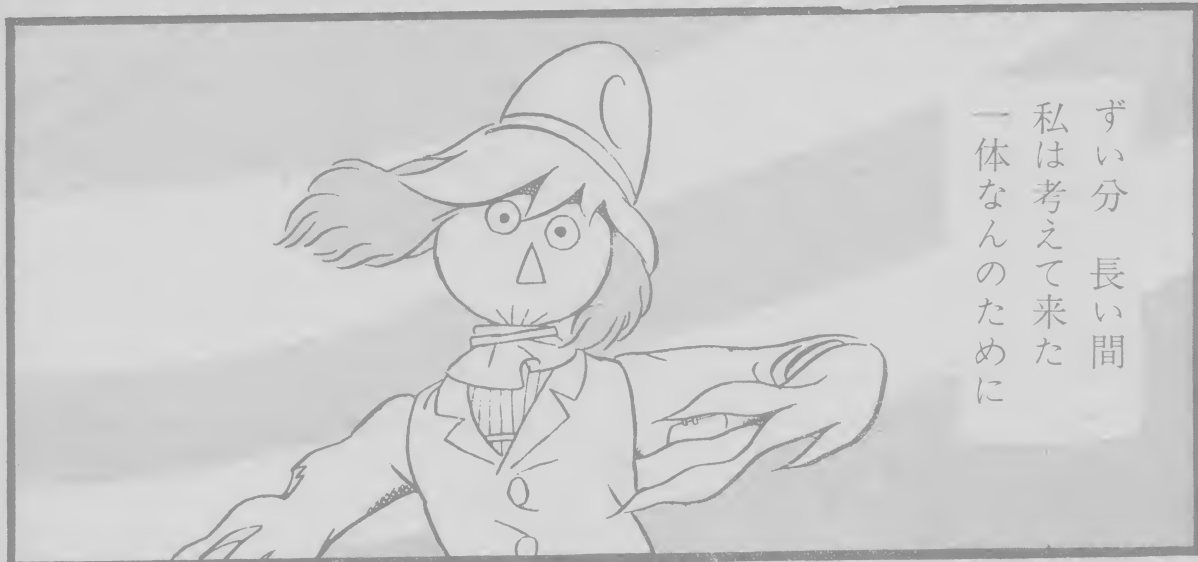
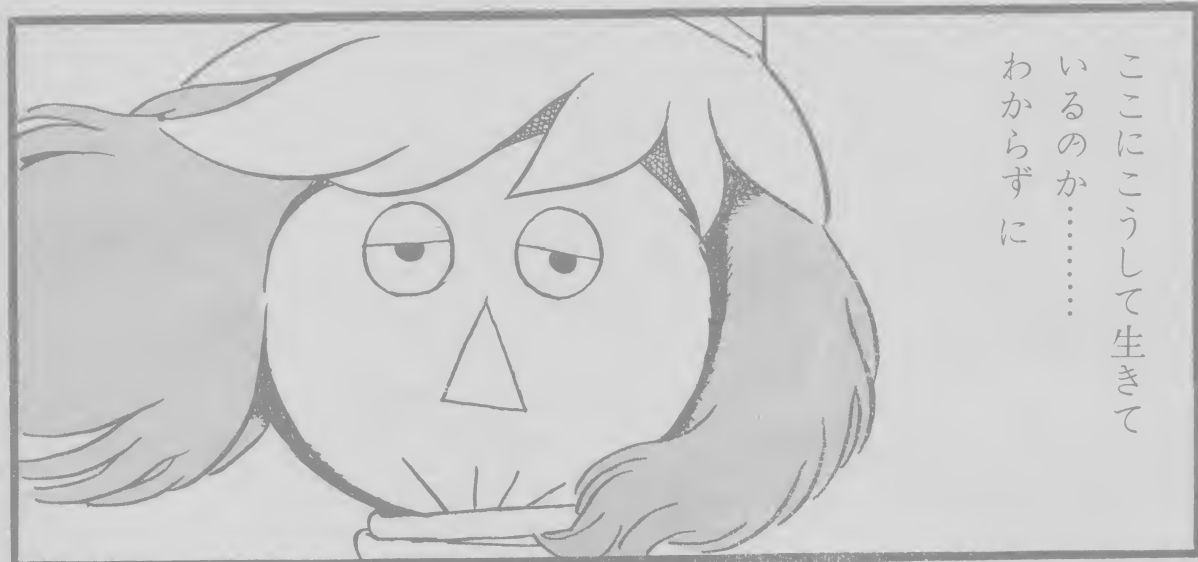
アアア
グシャ!!!

SIN-LINE
P-10
ユメは
いつかかなえられる
そのみちが
遠ければ
遠いほど

……
それで━
君は…

いまだに
旅してる
訳さ…
は、は、は
死ぬまで
ね

それで
………
たまには
兄弟のと
か━
友達の
ことなんか
思い出さ
ない…

ともだち…
きょうだい
………

しかし
きみはえらい！
とうとうその
くろうとも
おわかれ
だね

だれでもが乗れる
ってものじゃ
ないんだ――
そのバスに乗るた
めに必要なキップ
はだれでも持って
はいるんだけど
…そのキップを
切って貰えないと
乗れないのさ―

そうさ　君も
もっている—そして
私がバスのことを君に
おしえたのがそのキップを
切ったことなのさ

じゃ！ぼ、ぼくは
そのバスに乗れる
るんですね！

ほんとに
ほんとに
ほんと
なんです
ね！

ありがと！

ありが
とう

ありがとーッ
かえるは
行ったー
風の中を

ずい分　長い間
私は考えて来た
一体なんのために

ここにこうして生きて
いるのか……
わからずに

ずい分、長い間
考えて来た……
それが……

カクーン

ドドドドドドッ…

END,

1967,5,29 完